

令和7年4月28日(月)



# 旭中学校だより

〈学校の教育目標〉

- 学び続ける生徒
- 思いやりのある生徒
- やりぬく生徒
- たくましい生徒

今年度もよろしく願っています

校長 久米 達夫

令和7年度の学校教育活動が始まって、早くも1ヵ月が経とうとしております。今年度から日課(時程)が変わり、生徒は8時15分までの登校となりました。「慣れるまで、遅刻者が多くなるのかな。」と心配しましたが、生徒の順応力は早いですね。しっかり時間を守って登校し、学校生活を送っております。

旭中学校は、4月7日の入学式で新入生35名を迎え、全校生徒117名で今年度スタートいたしました。年々生徒数が減少しておりますが、希望に満ちた1年生を迎え、全校生徒で学校を盛り上げて行きましょう!

4月18日の授業参観にお時間を割いて御来校いただきました保護者の皆様、本当にありがとうございます。授業参観の後の全体懇談の際、私からは保護者の皆様に、今年度の重点目標を含めた「グランドデザイン」を提示させていただきました。今年度の重点目標は『互いに認め合い 高め合う生徒』の育成と設定させていただきました。この目標については、始業式の際2・3年生の皆さんに伝えましたし、入学式の式辞にも盛り込ませていただきました。今年度1年間、この重点目標の達成を目指して、生徒・保護者・地域の皆様と同じ方向を向いて、学校教育活動を進めていきたいと考えております。

新年度早々、うれしいお知らせをいただきました。先日、大川小学校の大山敏広校長先生から「朝、校門で登校する児童にあいさつをしているのですが、通り過ぎる旭中生のあいさつがすごく爽やかで、元気をもらっています!」というお話をいただきました。本当にうれしかったです。本校の伝統である「礎(いしずえ)」の1つ「心のあるあいさつ」がしっかりと根付いてきていると感じます。より良い人間関係を作るきっかけとなるものです。生徒の皆さん、これからは是非いろいろな人に「心のあるあいさつ」をしていきましょう!

新1年生の皆さんは、最初は緊張の連続だったと思いますが、1ヵ月経って少しずつ中学校生活に慣れてきたことだと思います。勉強内容も難しくなり、ついて行くのに精一杯という人もいるかも知れません。ですが、中学校生活はあっという間に3年間が過ぎてしまいます。3年後の自分はどうなっていたいのか、そして将来の夢について考え、目標を定めて、それに向かって一步一步前進してください。

2年生の皆さんは残り2年、3年生の皆さんは残り1年の中学校生活となりました。将来の夢は持っていますか。「どうせ自分にはムリ」なんて考えず、「夢」に向かって「一步を踏み出す」ことが肝心です。それは今からでもできることです。目標や夢に向かって、ひたむきに努力する姿、転んでもがきながらも1ミリずつでも進んでいくその姿を見て、下級生は学んでいきます。「子どもは親の背中を見て育つ」と言うことがありますが、下級生は上級生の背中を見て学んでいきます。「背中で語る先輩」であってほしいです。

5月に入りますと、3年生は修学旅行(東京方面)、2年生は宿泊研修(札幌市内)が実施されます。それぞれ4月から着々と準備を進めているところですが、改めて、「ねらい」「目標」を達成するための計画になっているかを振り返りつつ、入念に準備していきましょう。ただ「楽しかった!」だけでなく、「学びを深める」行事にしてもらいたいです。

最後になりますが、保護者の皆様・地域の皆様、今年度1年間どうぞよろしく願っています。何か気になることなどありましたら、遠慮なく学校に御連絡いただけると幸いです。